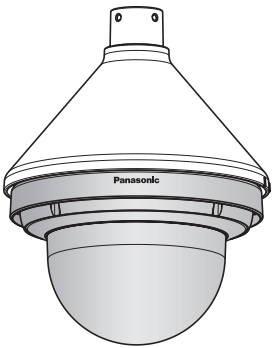


取扱説明書

工事説明付き

吊り下げ金具

品番 WV-Q125



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
●この取扱説明書は大切に保存してください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でお使いの場合に限りです。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話

フリーダイヤル

0120-878-410

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

パナハ

ヨイワ

受付：9時～17時30分

(土・日・祝祭日は受付のみ)

パナソニックi-PRO
センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019

PGQX2253YA
LS0718-1109
Printed in China

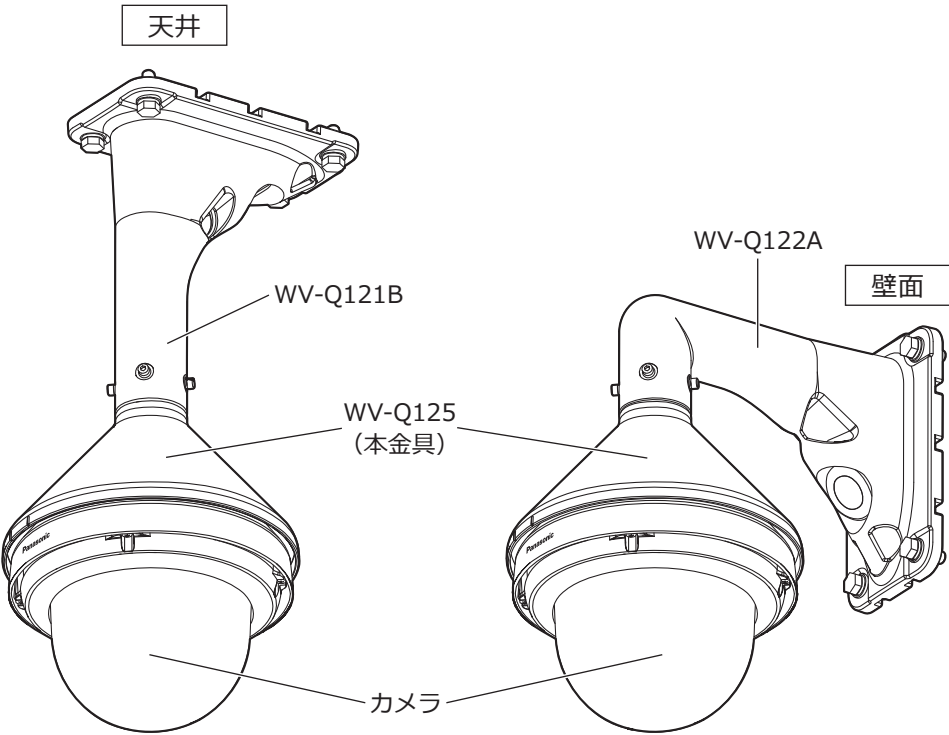
仕様

使用温度範囲	－50℃～＋60℃	
寸法	最大径φ239 mm	高さ165.5 mm
質量	約740 g	
仕上げ	アルミダイカスト	ファインシルバー

はじめに

商品概要

WV-Q125（吊り下げ金具）はドームタイプカメラを以下に示すように設置するときに使用します。
●WV-Q121B（カメラ天井吊り下げ金具：別売り）と組み合わせて天井に取り付ける場合
●WV-Q122A（カメラ壁取付金具：別売り）と組み合わせて壁面に取り付ける場合



付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）..... 1式

上記以外に必要なもの
●取り付けるカメラの付属品
アタッチメント金具..... 1個
アタッチメント固定ねじ（M4×8 mm）..... 5本（うち1本は予備ねじ）
延長落下防止ワイヤー 1本
※ 延長落下防止ワイヤーはWV-Q121Bと組み合わせて天井に取り付ける場合に使用します。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

- **工事は販売店に依頼する**
（工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。）
⇒必ず販売店に依頼してください。
- **定期的に点検する**
（金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。）
⇒点検は、販売店に依頼してください。
- **専用の取付金具を使用する**
（落下によるけがや事故の原因となります。）
⇒設置の際は、専用取付金具を使用してください。
- **ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける**
（落下によるけがや事故の原因となります。）

- **総質量に耐える場所に取り付ける**
（落下や転倒によるけがや事故の原因となります。）
⇒十分な強度に補強してから取り付けてください。
- **振動のないところに設置する**
（取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります。）
- **人がぶつからない高さに取り付ける**
（けがの原因となります。）
- **カメラに落下防止対策を施す**
（落下によるけがの原因となります。）
⇒指定されている落下防止ワイヤーがある場合は必ず取り付けてください。
- **防雪対策を施す**
（雪の重みで落下によるけがや事故の原因となります。）
⇒ひさしなどで防雪してください。

- 禁止**
 - **塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない**
（取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。）
 - **ぶら下がらない、足場代わりにしない**
（けがや事故の原因となります。）
 - **風が強い場所に設置しない**
（風速60 m/s以上の風が強い場所に設置すると、落下などでけがや事故の原因となります。）
 - **専用のカメラや金具以外は取り付けない**
（落下によるけがや事故の原因となります。）

注意

- 禁止**
 - **金属のエッジで手をこすらない**
（強くこするとけがの原因となります。）

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。
本金具の設置・接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。接続する前に、カメラ、PCなど接続する機器の電源を切ってください。

	警告	工事は必ず販売店に依頼してください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。
--	-----------	--

傷害防止のため、この機器は、取扱説明書に従って天井または壁面にしっかりと取り付ける必要があります。

湿度に注意してください
カメラの設置は、湿度の低いときに行ってください。降雨時や湿度の高いときに設置を行うと、内部に湿気がたまりドームカバー内が曇ることがあります。

カメラの取付方法について
本金具は吊り下げ専用です。据え置きや傾けた状態で使用すると、カメラが正常に動作しなかったり、寿命が短くなる場合があります。

- 以下のような場所での設置および使用はできません**
- プールなど、薬剤を使用する場所
 - ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所
 - 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所
 - 放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所
 - 海上や海岸通り、および火山地帯・温泉地などの腐食性ガスが発生する場所
 - 使用温度範囲（設置するカメラの使用温度範囲）を超える場所
 - 車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所
（本金具は車載用ではありません。）
 - エアコンの室外機付近など、急激に温度が変化する場合がある場所
（カメラ内部が曇ったり、結露したりする場合があります）

- 取付ねじの締め付けについて**
- インパクトドライバーは使用しないでください。ねじの破損の原因となります。
 - ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

雷に対する保護について
ケーブル類を屋外で引き回す場合は、雷の影響を受けることがあります。その場合は、カメラのすぐ近くに避雷器を設置し、雷の影響を受けないように、カメラと避雷器間のネットワークケーブル長をできるだけ短くするように配線してください。

ドームカバーに付いているドームプロテクター は設置工事完了後に外し、大切に保管してください。＜WV-SFV781L＞

本金具を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

＜取り付け可能なモデル＞
WV-Q125には、以下のカメラを取り付けることができます。（2018年6月現在）
取り付け可能なモデルの最新情報については、パナソニックのサポートウェブサイト（<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html> ＜管理番号C0501＞）を参照してください。
WV-SFV781L、WV-X8570N、WV-S8530N
本書ではWV-SFV781Lを取り付けた場合を例として説明しています。

設置・接続する

本書では、WV-SFV781LをWV-Q125（吊り下げ金具）とWV-Q122A（カメラ壁取付金具）を使って壁面に設置する方法について説明します。

[1] WV-Q122A（カメラ壁取付金具）を壁面に固定し、WV-Q125（吊り下げ金具）をWV-Q122Aに取り付ける

- ① 壁面からのケーブル類をWV-Q122Aへ通す。
WV-Q122Aの開口部より約200 mm程度ケーブル類が出るように長さを合わせる。
- ② WV-Q122AをM10（別途調達）のねじ、またはアンカー（別途調達）4本で固定する。
最低引抜強度：
823 N {84 kgf} /1本あたり
- ※ 固定方法の詳細は、WV-Q122A（カメラ壁取付金具）の取扱説明書をご参照ください。

メモ

●WV-Q122AはWV-Q188（ボール取付金具）を使って丸形状のボールに、WV-Q189（コーナー取付金具）を使って建物外壁のコーナー部分に取り付けることができます。取付方法についてはWV-Q188、WV-Q189の取扱説明書をご参照ください。

- ③ WV-Q125をWV-Q122Aに取り付け、M6六角穴付きねじ（WV-Q122A付属品）4本で固定する。
（M6用の六角レンチが必要です。）
推奨締付トルク：
2.45 N・m {25 kgf・cm}
- ※ WV-Q125の右側の「|」マークがWV-Q122Aの正面に合うように固定してください。

[3] 落下防止ワイヤーを WV-Q122A に取り付ける（つづき）

メモ

●WV-Q121Bに落下防止ワイヤーを取り付ける場合は、以下の手順で取り付け作業を進めてください。
①延長落下防止ワイヤー（カメラ付属品）を用意する。
②左図のように、WV-Q121Bのワイヤー引っ掛け部に延長落下防止ワイヤーを通す。
③延長落下防止ワイヤーのワイヤー取付金具部分と反対側のリング部分を、カメラからの落下防止ワイヤースナップフック部分に接続する。

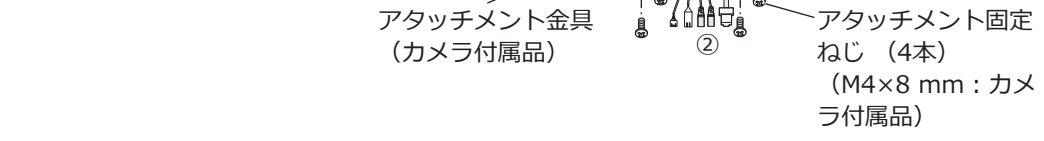
[4] 接続する

- ① [2]でアタッチメント金具の中を通してきたケーブル類とカメラからのケーブル類を接続する。
- メモ

●カメラへのケーブル接続方法については、カメラの取扱説明書をご参照ください。

[2] アタッチメント金具を WV-Q125 に取り付ける

- ① アタッチメント金具（カメラ付属品）とアタッチメント固定ねじ（M4×8 mm：カメラ付属品）を準備する。
- ② アタッチメント金具にケーブル類を通す。
- ③ アタッチメント金具をWV-Q125にアタッチメント固定ねじで固定する。
推奨締付トルク：
0.78 N・m {8 kgf・cm}



[3] 落下防止ワイヤーを WV-Q122A に取り付ける

カメラからの落下防止ワイヤーのスナップフック部分からワイヤー取付金具を取り外し、WV-Q122Aのワイヤーひっかけ部にスナップフックを取り付けます。

- メモ

●ワイヤー取付金具は落下防止ワイヤーに取り付けた状態で梱包されているモデルと、落下防止ワイヤーとは別々に梱包されているモデルがあります。
●ワイヤー取付金具を使用しない場合は大切に保管してください。

- ② ケーブル接合部を防水処理する。
露出配線でカメラを設置する場合はケーブルを適切に防水処理してください。カメラ本体側は防水ですが、ケーブル端は防水対応ではありません。ケーブルの接続部には、必ずカメラ付属の防水テープを使用し、以下のようにして防水処理をしてください。カメラ付属の防水テープ以外のビニールテープなどを使用すると、すき間から水が入り、故障の原因になります。ネットワークケーブルとそのほかのケーブル類は、下図に示すように分けて防水処理を実施します。

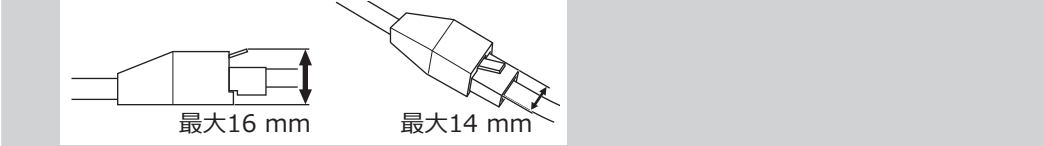
<ネットワークケーブルの防水処理方法>

※ ネットワークケーブル部分にRJ45防水コネクタが付いているモデルには、この防水テープによる防水処理は不要です。

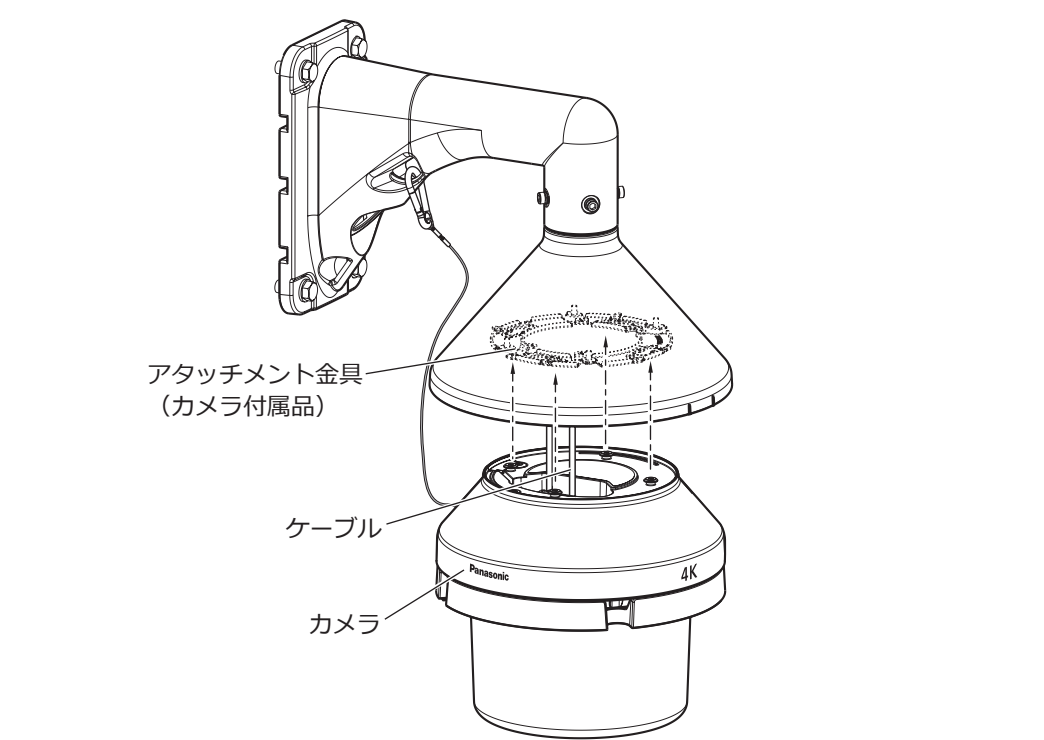
<アラーム入出力ケーブル、電源ケーブル、オーディオ入力ケーブル、オーディオ出力ケーブルなどの防水処理方法>

重要

●2P電源ケーブル（カメラ付属品）、および4Pアラームケーブル（カメラ付属品）と外部との接続も同様に防水処理をしてください。
●テープを約2倍の長さに引き延ばし（右図参照）、ケーブルの周りに巻きつけてください。テープを十分に引き延ばさないと、十分な防水性が得られません。
●カメラ本体は、本書に定める設置工事が正しく施工され、かつ適切な防水処理が施工された場合のみ、防水（JIS IP66相当）です。WV-Q125（吊り下げ金具）の内部は防水対応ではありません。
●ネットワークケーブルのフックが外れないように、右図に示すように LANコネクタカバー（カメラ付属品）をケーブルに取り付け、矢印の方向にスライドして固定します。カメラに使用するネットワークケーブルのコネクタには、以下の制限があります。（RJ45防水コネクタ付きのモデルの接続方法については、カメラの取扱説明書をご参照ください。）



[5] カメラをアタッチメント金具に固定する

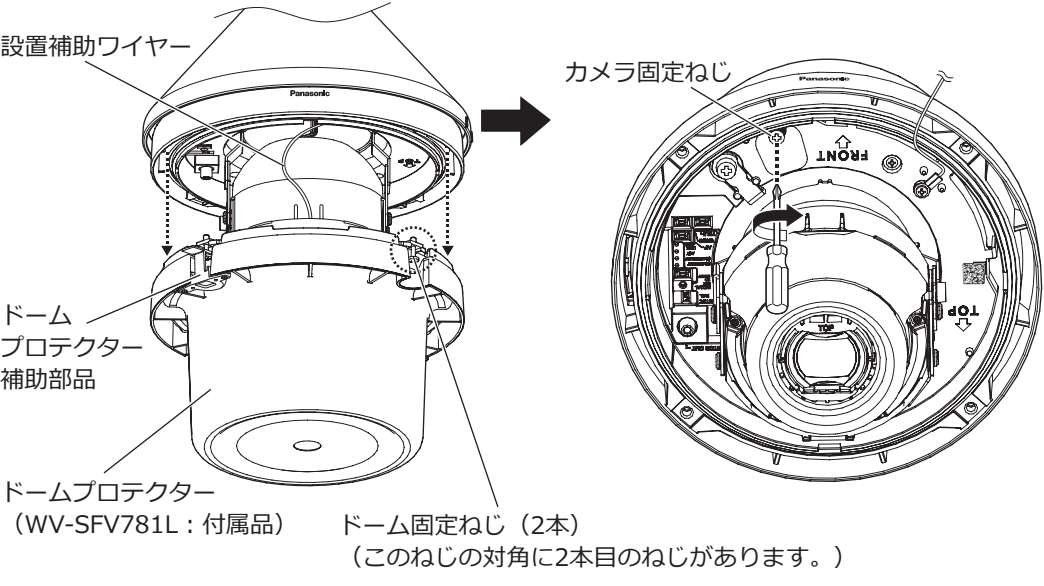


[5] カメラをアタッチメント金具に固定する（つづき）

- ② ドーム固定ねじ2本を緩めてドームカバーにドームプロテクター（カメラ付属品）を付けた状態で、カメラから取り外す。
※ 工場出荷時はドーム固定ねじ2本を使ってドームカバーをカメラに仮固定しています。仮固定されているドーム固定ねじは、ドームプロテクター補助部品の付いていない部分のねじ（2か所）です。
※ ドームカバーにドームプロテクターが付いていないモデルもあります。ドームカバーの取り外し方法は、各カメラの取扱説明書 設置編をご参照ください。
- ③ カメラ本体より保護用緩衝材や固定用テープを取り外す。
- ④ カメラ固定ねじでカメラを固定する。推奨締付トルク： 0.78 N・m {8 kgf・cm}
※ カメラ固定ねじについては、各カメラの取扱説明書 設置編をご参照ください。

重要

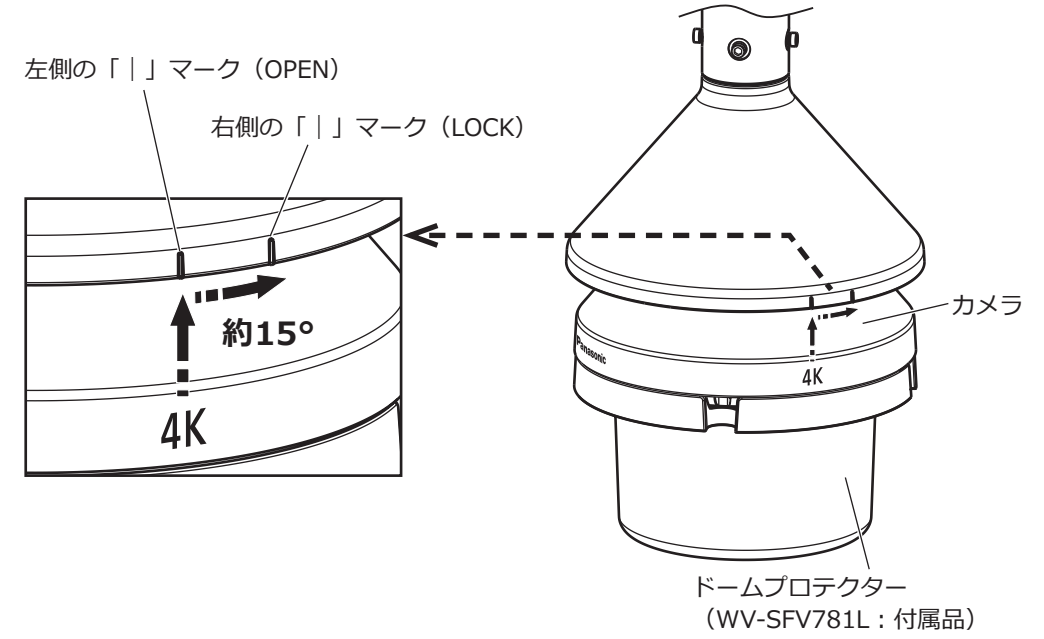
●カメラ固定ねじは確実に締めてください。落下事故またはカメラ内部に水が入り、けがや故障の原因となります。



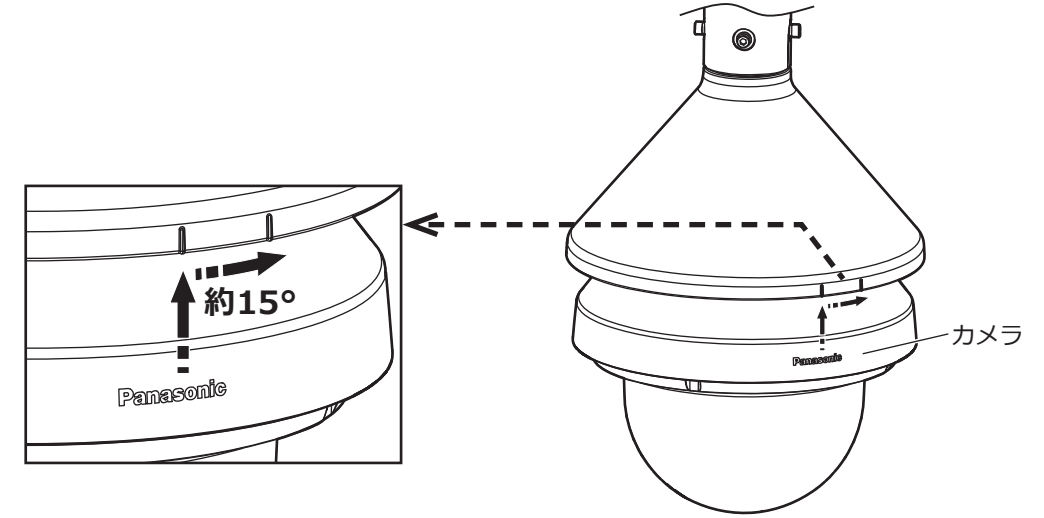
- メモ

●ビット（カメラ付属品）を使ってドーム固定ねじを緩めます。
- ※ イラストではカメラの接続ケーブル類、ドームプロテクター、ドームカバーおよびIR LEDケーブルなどを省略して表現しています。
- ⑤ カメラの画像を調整する。
※ カメラの調整方法については、各カメラの取扱説明書をご参照ください。

- ① カメラにケーブル類を接続後、カメラの4Kマークを左側の「|」マーク（OPEN位置を意味します）にあわせる。そして、カメラ底面のアタッチメント取付ねじ（4か所）をアタッチメント金具（カメラ付属品）の穴へ挿入する。
その後、カメラ本体を時計回りに約15°回転させ。カメラの4Kマークを右側の「|」マーク（LOCK位置を意味します。）にあわせて仮固定する。



※ アタッチメント金具へ取り付けるときのカメラの向きは、カメラによって異なります。カメラの取り付け方に関する情報は、接続する各カメラの取扱説明書 設置編をご参照ください。（下図はWV-X8570N、WV-S8530Nの例です。）



高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本金具を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。
特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？	直ちに使用を中止してください
●本金具を使用せずに放置している。	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に撤去を依頼してください。
●取付ねじがゆるんだり、抜けている。 ●取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。 ●本金具および取付部に破損や著しいさびがある。	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に点検を依頼してください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。本金具を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。
下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。
特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？	直ちに使用を中止してください
●異常・故障がある。	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店または施工業者に点検や撤去を依頼してください。